康



1/5 仲間と絆をつなぎ、新春を駆け抜ける



新春恒例の「長崎新春駅伝・新春ウオーク」を開催。市総合運動公園で行われた駅伝では、小学生から一般まで過去最多の333チーム、1,776人が参加し、タスキをつなぎゴールを目指しました。職場の仲間と参加した井上さんは「沿道の声援のおかげで、何とか仲間にタスキをつなげることができました」と安堵の表情を見せていました。





地域の防災を胸に、堂々と行進



長崎市消防出初式を開催。市民会館で行われた式典では、防火・防災に功績のあった751人、63団体が表彰されました。

また、長崎水辺の森公園では、機械器具点検を行った後、消防職・団員や婦人防火クラブ・少年消防クラブなど約3,000人が参加してパレードを実施。消防車両31台、消防艇4隻が海に向けた一斉放水を行い今年一年の防火・防災への決意を新たにしました。



生活情報

税

福祉

もよおし









長崎市成人式が公会堂で開催され、新成人約3,500人が集まりました。式典では新成人の石本明日香さんと、井手菜摘さんが司会を務め、荒木佑太さんが新成人を代表して「長崎で生まれ育ったということを誇りに思い、社会の発展に貢献していけるよう、これからも力強く歩みを進めていきます」と誓いの言葉を述べました。また、華やかな雰囲気に包まれた会場では、旧友との再会を喜びあう光景が多く見られました。



1/18(土)・ 19(日)

新春に長崎七高山を制覇!



無病息災を願って



市街地を囲む七つの山を巡礼し、神社やお堂で、一年の無病息災を祈願する「七高山巡り」。今年は、5歳から81歳までの27人が、冷たい風が吹く中、日吉青年の家をスタート。急な山道を登ったり、下ったりしな

がら、2日かけて見事に全員で"七高山"を制覇しました。渡島 驚さん(8歳)は、「きつかったけど、山の上からの景色がとってもキレイだった」と満足そうでした。





あぐりの丘で鬼火焚きが行われ、集まった方々が今年の無病息災を祈願しました。年男として、診啓に火を放った横井ががくんは、「家族にけががとくんは、「家で話しました。また、参加者は、ぜんざいてほかがなり、餅を焼いてほおばったりしていました。